

患者の皆様へ

2023年5月8日
腫瘍内科

現在、腫瘍内科では、化学放射線療法を受けた肺癌の患者さんに関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では平成30（2018）年5月1日～令和元年（2019）年12月31日まで に化学放射線療法が行われている患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「局所進行非小細胞肺癌に対する化学放射線療法を受けた患者の後ろ向き研究」

2. 研究の意義・目的 肺癌の患者さんに対する最適な化学放射線療法を検討します。

3. 研究の方法

平成30（2018）年5月1日～令和元年（2019）年12月31日までに化学放射線療法を開始した患者さんの、診療録に記載されている身長、体重、病歴、血液検査値、腫瘍に対する生検の結果（腫瘍の遺伝子変異検査結果を含む）、治療の経過（治療の効果と副作用、およびそれにかかわる血液検査や画像資料等）と、化学放射線療法後の経過（その後の治療を含め、同上）を調べます。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 外部への試料・情報の提供

個人識別情報とリンクしない形に加工した情報を、下記の共同研究施設と共有いたします。必要に応じて、個人識別情報とリンクしない形に加工した画像等の情報を、共同研究機関に集約し、中央判定を実施することがあります。

6. 研究組織

藤田医科大学 大矢 由子
千葉大学医学部附属病院 齋藤 合 / 鈴木 拓児
神戸市立医療センター中央市民病院 佐藤 悠城
東北大学病院 宮内 栄作
大阪府済生会吹田病院 岡田 あすか
兵庫医科大学 木島 貴志
兵庫県立尼崎総合医療センター 松本 啓孝
和歌山県立医科大学 寺岡 俊輔
大阪はびきの医療センター 鈴木 秀和
大阪国際がんセンター 田宮 基裕
大阪急性期・総合医療センター 田中 智
大阪刀根山医療センター 金津 正樹
済生会熊本病院 坂田 能彦
市立伊丹病院 原 聡志
倉敷中央病院 横山 俊秀
近畿中央呼吸器センター 田宮 朗裕
済生会宇都宮病院 仲地 一郎
大阪市立総合医療センター 駄賀 晴子
愛知県がんセンター 山口 哲平
京都府立医科大学 河内 勇人

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院

本件のお問合せ先 : 呼吸器内科 齋藤合

研究代表機関 : 藤田医科大学 呼吸器内科
研究代表者 : 講師 大矢 由子